

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

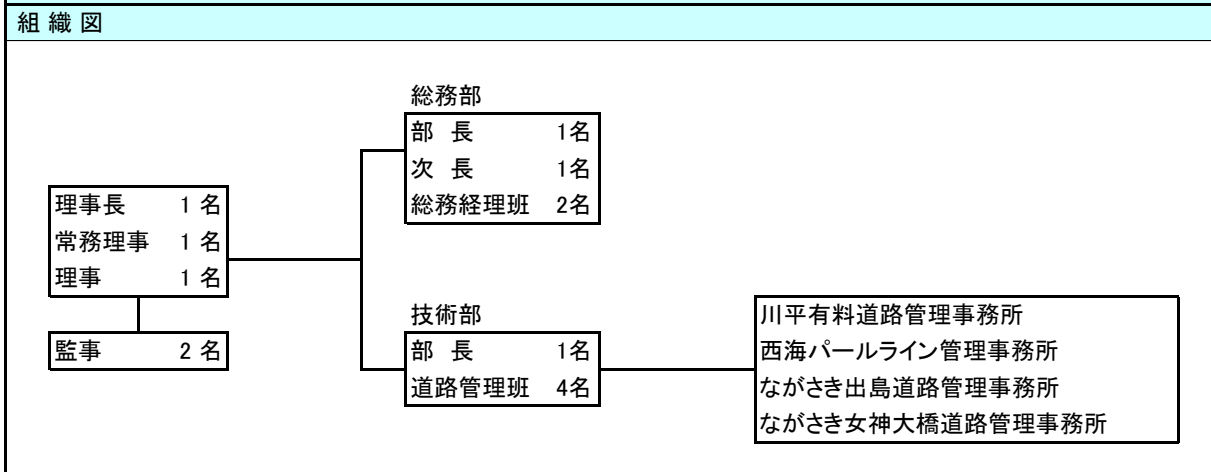
直近の決算日:

令和 5 年 3 月 31 日

1. 団体の概要				
団体名	(特)	長崎県道路公社	設立目的、経緯及び根拠法	
設立年月日	昭和52年2月1日		長崎県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とする。 平戸大橋有料道路が、建設途中の昭和50年4月に主要地方道平戸田平線から国道383号に昇格したため、県での有料道路の維持管理が制度上できなくなることから、以降、有料道路の建設、維持管理及び料金徴収については地方道路公社で行うこととし、平戸大橋有料道路の供用開始前の昭和52年2月1日に長崎県道路公社が設立された。 道路整備特別措置法・地方道路公社法。	
所在地等	〒 850-0035			
	長崎市元船町17番1号			
	TEL	(095)823-2600		
	Fax	(095)827-3463		
E-Mail	honsya@nagasaki-dourokousha.or.jp			
県所管課	土木 部	道路建設 課	定款等に定める事業	
資本金・ 基本金等の額 (千円)	主な出資者	出資額(千円)	比率(%)	有料道路(高速道除く)の新設、改築、維持、修繕、その他の管理、有料駐車場の建設・管理。
	長崎県	6,895,000	100.00	
			0.00	
			0.00	
			0.00	
	その他		0.00	
	総 額	6,895,000	100.00	
ホームページURL	http://www.nagasaki-dourokousha.or.jp/			

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)												
役員 (名)	区分	R2	R3	R4	プロパー	派遣県職員	兼務県職員	県OB	他自治体	民間	その他	
	常勤	2	2	2		2						
	非常勤	3	3	3						3		
	合計	5	5	5	0	2	0	0	0	3	0	
職員 (名)	R2	R3	R4	正規雇用	派遣 県職員	兼務 県職員	非正規雇用	他自治体	民間	その他		
				うち県OB			うち県OB					
	9	8	9	3	3		3					
1人当たり人件費(年度推移)		R2		R3		R4		平均年齢	賞与月数			
常勤役員報酬年額(千円)		2,993		2,975		3,008		60 歳				
プロパー平均給料月額(千円)		376		378		379		55 歳	3.9 月			
1人当たり人件費(R4、年代別)		20代以下		30代		40代		50代	60代以上			
プロパー平均給料月額(千円)						*		*	*			
各年代別プロパー数(名)						1		1	1			
県からの常勤又は非常勤役員	県の役職					団体での役職					区分	
	土木部政策監					理事長					常勤	
	土木部課長					常務理事					常勤	
上記役員以外の顧問等												
県派遣又は兼務職員	土木部参事					総務部長					派遣	
	土木部課長補佐					総務部次長					派遣	
	土木部道路建設課課長補佐					技術部長					派遣	

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)(続き)



3. 県財政負担の状況(千円)

〈当年度受入額〉		〈当年度末残高〉	
補助金		貸付金残高	
負担金	875	損失補償・債務保証残高	65,000
委託料	28,184		
貸付金			
損失補償・債務保証額			
出資金			

4. 県の政策との関連性

1 政策目標

■高規格道路の整備による高速交通ネットワークの構築

観光の振興、企業立地の促進や物流の効率化には、地域間の時間短縮、定時性の確保やミッシングリンクの解消が課題。このため、地域の交流促進や連携強化に資する高規格道路の重点的な整備を推進。

2 県との役割分担

県の役割	団体の役割
国庫補助事業等を活用して高規格道路などの整備を重点的に進める。	有料道路建設資金の財源に制約を受ける地方公共団体に代わり、民間資金を導入することにより緊急に道路整備を行う為の事業主体となり、その路線の料金を徴収し、維持管理を行い、建設費を償還する役割。
法人に委ねる理由	説明
<input checked="" type="checkbox"/> 県が直接実施するよりも効果的・効率的に事業実施可能	一般国道等の有料道路管理者は、道路整備特別措置法第10条により地方道路公社とされる。
<input type="checkbox"/> 県が直接実施することが困難	
その他	

3 事業実施状況

事業名	事業概要	事業費(千円)	主な実績	事業の評価、今後の方向性
1 川平有料道路	一般国道206号の西彼杵郡時津町井手園交差点と長崎バイパスの川平インターチェンジを結ぶ有料道路の維持管理。建設費の償還。	852,893	R4年度 償還準備金繰入損 387,432千円 損失補てん引当損 92,897千円 その他の費用 372,564千円 計 852,893千円	当該道路は長崎バイパスに連結し、時津町・長与町から長崎市内又は諫早方面及び長崎自動車道へ繋がるアクセス道路。維持管理に多額の費用を要するが、今後とも効果的・効果的な維持管理を行い、費用縮減に努める。また、一般国道206号の交通渋滞緩和の役割や長崎自動車道へ繋がる優位性を活かし通行台数の増加を図っていく。

2	西海パールライン有料道路	長崎市と佐世保市を結ぶ西彼杵道路の一部である有料道路(高規格道路)の維持管理。建設費の償還。	472,218	R4年度 償還準備金繰入損 159,256千円 損失補てん引当損 41,933千円 <u>その他の費用 271,029千円</u> 計 472,218千円	H25年3月に小迎バイパス(大串～小迎)が開通。指方バイパスから西海パールライン有料道路を経由し、小迎バイパスまでの自動車専用道路区間は約14kmとなった。その結果、国道202号と比較し走行時間短縮効果は10分程度となり西海パールライン有料道路の価値が向上した。今後とも効率的・効果的な維持管理を行う。またR3年度から周辺の施設と提携し、現金通行者に施設割引を行うなど、並走する国道202号から有料道路に誘引する取組みを行っており、引続き通行台数の増加を図っていく。
3	ながさき出島道路	長崎市内と高速道路の長崎インターチェンジを結ぶ有料道路の維持管理。建設費の償還。	317,317	R4年度 償還準備金繰入損 104,967千円 損失補てん引当損 27,018千円 <u>その他の費用 185,332千円</u> 計 317,317千円	長崎市中心部と長崎自動車道を直結する道路として、観光及び経済活動で重要な役割を果たしている。 R4年3月に長崎自動車道(長崎IC～芒塚IC)が4車線化し安全性が向上したことに加え、交通事故があった際の通行制限の影響が小さくなり定時性が確保されたことなどから、連結する出島道路の通行台数にもプラス効果が現れている。
4	ながさき女神大橋道路	長崎港で分断された長崎市南部と西部を結ぶ有料道路の維持管理。建設費の償還。	335,459	R4年度 損失補てん引当損 26,407千円 <u>その他の費用 309,052千円</u> 計 335,459千円	長崎市南部と西部を最短距離で結ぶことで市中心部の慢性的な渋滞対策の役割を担っている。時短効果は高いが料金は低廉であり、生活道路として根付いている。 現時点は償還が進んでいるが、将来的には橋梁の塗装塗替等、維持費の増加が見込まれる。

【共通】

5. 中期経営計画等の進捗状況・事業目標の達成状況										◎ 達成	○ 一部達成	× 未達成	— 未実施
No.	項目名		R4実績	計画上の目標値					最終年度(R10)	達成状況			
				R1	R2	R3	R4	R5					
中期計画	川平有料道路 料金収入(単位:千円)		851,558	917,280	927,687	927,687	927,687	927,687	231,286	×			
	(目標値設定の根拠・考え方)												
	① 経営改善計画(令和2年3月改定)における料金収入 (翌年度に向けての改善事項等)												
	R4実績収入は回復傾向にあるものの新型コロナウイルス感染症の影響が残り目標値の約91.8%。R5年度上期は対前年同期比約104.2%。目標値には届かないが回復傾向は継続。												
	R4実績収入は回復傾向にあるものの新型コロナウイルス感染症の影響が残り目標値の約89.7%。R5年度上期は対前年同期比約102.5%で増収へ転換している。												
No.	項目名		R4実績	R1	R2	R3	R4	R5	最終年度(R10)	達成状況			
中期計画	西海パールライン有料道路 料金収入(単位:千円)		461,087	508,230	513,884	513,884	513,884	513,884	539,226	×			
	(目標値設定の根拠・考え方)												
	② 経営改善計画(令和2年3月改定)における料金収入 (翌年度に向けての改善事項等)												
	R4実績収入は回復傾向にあるものの新型コロナウイルス感染症の影響が残り目標値の約97.3%。R5年度上期は対前年同期比は約111.8%。この状況が継続すればR5年度は目標を達成できる見込み。												
	R4実績収入は回復傾向にあるものの新型コロナウイルス感染症の影響が残り目標値の約92.1%。R5年度上期は対前年同期比約102.3%で増収へ転換している。												
No.	項目名		R4実績	R1	R2	R3	R4	R5	最終年度(R10)	達成状況			
中期計画	ながさき出島道路 料金収入(単位:千円)		297,193	304,742	305,177	305,177	305,177	305,177	300,996	×			
	(目標値設定の根拠・考え方)												
	③ 経営改善計画(令和2年3月改定)における料金収入 (翌年度に向けての改善事項等)												
	R4実績収入は回復傾向にあるものの新型コロナウイルス感染症の影響が残り目標値の約97.3%。R5年度上期は対前年同期比は約111.8%。この状況が継続すればR5年度は目標を達成できる見込み。												
	R4実績収入は回復傾向にあるものの新型コロナウイルス感染症の影響が残り目標値の約92.1%。R5年度上期は対前年同期比約102.3%で増収へ転換している。												
No.	項目名		R4実績	R1	R2	R3	R4	R5	最終年度(R10)	達成状況			
中期計画	ながさき女神大橋道路 料金収入(単位:千円)		290,477	314,825	315,433	315,433	315,433	315,433	220,371	×			
	(目標値設定の根拠・考え方)												
	④ 経営改善計画(令和2年3月改定)における料金収入 (翌年度に向けての改善事項等)												
	R4実績収入は回復傾向にあるものの新型コロナウイルス感染症の影響が残り目標値の約92.1%。R5年度上期は対前年同期比約102.3%で増収へ転換している。												
	R4実績収入は回復傾向にあるものの新型コロナウイルス感染症の影響が残り目標値の約92.1%。R5年度上期は対前年同期比約102.3%で増収へ転換している。												
事業目標	①	川平有料道路各年度事業計画(当初予算料金収入)との比較	(計画)	927,687千円	805,560千円	812,515千円	R4計画比 104.8%						
		(実績)	789,734千円	807,238千円	851,558千円								
	②	西海パールライン有料道路各年度事業計画(当初予算料金収入)との比較	(計画)	513,884千円	452,687千円	464,597千円	R4計画比 99.2%						
		(実績)	435,953千円	467,740千円	461,087千円								
	③	ながさき出島各年度事業計画(当初予算料金収入)との比較	(計画)	305,177千円	244,708千円	254,071千円	R4計画比 117.0%						
		(実績)	232,699千円	247,580千円	297,193千円								
	④	ながさき女神大橋道路各年度事業計画(当初予算料金収入)との比較	(計画)	315,433千円	287,418千円	297,155千円	R4計画比 97.8%						
		(実績)	286,582千円	291,444千円	290,477千円								
(県が期待する効果の実現)													
評価結果					評価理由								
○	十分実現している				・一部路線において、料金徴収期間満了時に未償還額が発生する可能性が高いが、その場合は公社全体の損失補てん引当金で補填が可能である。 ・道路の施設についても、良好な状態で料金徴収期間満了後、長崎県へ引き継ぐことができる。								
	概ね実現しているが未実現の部分がある												
	実現できていない												
(計画達成状況の判定)													
判定項目			評価基準						点数				
①	中期経営計画の策定		[2点]中期経営計画(計画期間3年以上)を策定している						2				
②	中期経営計画の目標達成		[1点]目標を1項目達成			[2点]2項目以上達成			-				
③	事業目標の達成		[1点]事業目標を1項目達成			[2点]2項目以上達成			2				
④	県が期待する効果の実現		[1点]効果を概ね実現している			[2点]十分実現している			2				
			合計						6				

6. 財務の状況 (単位:千円、%)							
項 目	R2		R3		R4		対前年度比
	金額	対前年度比	金額	対前年度比	金額	対前年度比	
【貸借対照表】							
流動資産(A)	1,943,159	118.37	2,153,119	110.81	2,775,321	128.90	
うち金銭債権額	1,943,159	118.37	2,153,119	110.81	2,775,321	128.90	
うちたな卸資産		-		-		-	
固定資産	25,756,438	100.10	25,940,439	100.71	26,055,591	100.44	
繰延資産		-		-		-	
資産合計(B)	27,699,597	101.19	28,093,558	101.4	28,830,912	102.6	
流動負債(C)	464,033	90.26	218,533	47.09	209,603	95.91	
うち短期借入金	80,071	70.36	75,833	94.71	33,500	44.18	
うち県借入額		-		-		-	
固定負債	20,340,564	101.89	20,980,025	103.14	21,726,309	103.56	
うち長期借入金	140,833	42.25	65,000	46.15	31,500	48.46	
うち県借入額		-		-		-	
うち退職給付引当金	35,876	104.52	37,226	103.76	21,340	57.33	
負債合計	20,804,597	101.59	21,198,558	101.89	21,935,912	103.48	
株主資本	6,895,000	100.00	6,895,000	100.00	6,895,000	100.00	
その他		-		-		-	
利益剰余金		-		-		-	
純資産又は資本合計(D)	6,895,000	100.00	6,895,000	100.00	6,895,000	100.00	
団体債務保証額		-		-		-	
県債務保証又は損失補償額	220,905	49.41	140,833	63.75	65,000	46.15	
【損益計算書】							
売上高(E)	1,772,968	86.09	1,845,217	104.08	1,931,924	104.70	
うち県財政負担額(F)	25,048	73.76	28,185	112.52	28,184	100.00	
売上原価	1,737,347	88.24	1,736,944	99.98	1,831,021	105.42	
うち人件費(G)	4,313	94.52		0.00		-	
販売費及び一般管理費	132,477	87.17	144,817	109.31	146,830	101.39	
うち人件費(H)	51,007	97.02	49,714	97.47	54,790	110.21	
営業損益	-96,856	157.61	-36,544	37.73	-45,927	125.68	
営業外収益(I)	2,604	99.92	5,288	203.07	1,722	32.56	
うち県財政負担額(J)	1,054	103.74	892	84.63	875	98.09	
営業外費用	6,047	132.96	4,209	69.60	35	0.83	
経常損益(K)	-100,299	158.21	-35,465	35.36	-44,240	124.74	
特別損益	100,299	158.21	35,465	35.36	44,240	124.74	
税引前当期純損益	0	-	0	-	0	-	
法人税等		-		-		-	
当期純損益(L)	0	-	0	-	0	-	
準備金等計上前当期純損益	667,955	72.42	749,429	112.20	839,910	112.07	
(会計方針の変更による影響額)							
【事業(セグメント)別】							
	売上高	経常損益	当期純損益	準備金計上前当期純損益			
川平有料道路	851,984			480,329			
西海パールライン有料道路	471,860			201,189			
ながさき出島道路	317,086			131,985			
ながさき女神大橋道路	290,994	-44,240		26,407			
各財務数値の増減理由及び各種引当金の設定状況等							
<ul style="list-style-type: none"> ・流動資産中の金銭債権額の増は償還準備金が増加したことにより現預金が増加したため。なお積上げた現預金で無料化の際、出資金を返済。 ・短期借入金、長期借入金及び債務保証の減少は借入金の返済が着実に進んでいることによる。 ・販売費及び一般管理費の人件費の増は嘱託職員の1名増及び退職手当引当金繰入額の増による。 ・営業(経常)損益のマイナス幅の増加は、ながさき女神大橋でケーブル制振装置の応急対策工事を行ったことによる。 ・営業外収益の減は物損事故に伴う保険金を前期受領しており、その反動減による。 ・営業外費用の減は上記の物損事故による工事を前期行ったことで一時的に費用が増加したことの反動減。 ・特別損益の増は、ながさき女神大橋でケーブル制振装置の応急対策工事を行い償還準備金を取崩したことによる。 							
6. 財務の状況							
「財務の状況」判定項目	R2		R3		R4		点数
	数値・比率	数値・比率	対前年度比	数値・比率	対前年度比	対前々年度比	
① 経常損益率(K/E)	-5.66	-1.92	33.97	-2.29	119.14	40.48	-1.0
② 当期純損益率(L/E)	0.00	0.00		0.00			0.0
③ 純資産又は資本合計比率(D/B)	24.89	24.54	98.60	23.92	97.44	96.08	0.0
④ 流動比率(A/C)	418.75	985.26	235.28	1,324.08	134.39	316.20	0.0
⑤ 県財政負担率((F+J)/(E+I))	1.47	1.57	106.89	1.50	95.64	102.23	0.0
⑥ 人件費比率((G+H)/E)	3.12	2.69	86.35	2.84	105.26	90.89	-0.5
合計							-1.5

※判定項目ごとに評価基準に基づき採点

【共通】

7. 経営内容及び事業活動についての総合判定			
(団体の自己評価)			
「計画達成状況」「財務状況」の合計点数	4.5	➡	総合判定 B
5点以上:A 概ね良好	-4点以上5点未満:B 改善の余地あり		-4点未満:C 一層の努力が必要
※事業活動・経営内容の評価・今後の課題及び改善事項等			
<p>R2年3月に経営改善計画書(第5回改訂)を作成し、料金徴収期間の満了時点で見込んでいた償還不足額については、損失補てん引当金を活用し償還する計画を立てている。R4年度は新型コロナウイルス感染症による影響が残るものの経済活動の自粛や制限が緩和されたことにより対前年度比約9千万円の増収となった。また利益相当にあたる償還準備金は約6億1千万円(R3年度 約5億3千万円)を積上げており、経営状況は改善傾向にある。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響による減収下においても現預金は増加しており資金不足に陥ることはないが、償還期間満了時の出資金返済に影響を及ぼすため、今後も引続き状況を注視していく。</p>			
(県の評価)			
合計点数	4.5	※評価の内容、県評価での加点・減点、総合判定の理由 (加点・減点を行う場合は、点数及び理由を具体的に記載ください。)	
総合判定	B	<p>プロパー職員の定年退職後の不補充及び再任用により、人件費の抑制に取り組んでいる。また、長期借入金は、地方公共団体金融機構からの借入金を繰上返済し、計画的に着実な返済が行われている。</p> <p>R4年度は新型コロナウイルス感染症による影響から持ち直してきており、料金収入が目標値を下回るもののR3年度比約8千6百万円の増収となっている。また、R4年度は約6億1千万円の償還準備金を積上げており、回復傾向にあることから、直ちに資金不足に陥る状況にはない。</p>	
(今後の県の関与の方針)			
<p>有料道路の建設、維持管理及び料金徴収については長崎県道路公社にて行うこととなっており、また、料金徴収期間が満了し無料化する際には県への出資金を返還する必要があることから健全な法人経営が求められる。</p> <p>このため、経営状況等についての情報公開による透明性の確保やチェック機能の向上を図るとともに、利用促進や経費節減の取組によって健全な経営状況となるよう指導監督を行っていく。</p>			